君津中地区社会福祉協議会だより 第55号　　平成30年11月15日(木)

ふれあいと
支えあい
豊かな地域社会

ほの30通信

題字は故斎藤翠谷先生

発　行
君津中地区社会福祉協議会
編　集
同上広報事業部会
連絡先
君津市保健福祉センター
TEL　57-2250
FAX　54-2941

ひとり暮らし高齢者の見守り ― 食事サービス ―

君津中地区社会福祉協議会では、「75歳以上のひとり暮らし高齢者見守り事業」の一環として、月1回の食事サービス事業(7・8月はお休み)を実施しています。

地域の民生委員が窓口となり、対象者の登録を行います。調理ボランティアの皆さんは、弁当の献立作りから調理まで全て手作りで行います。ひとり暮らし高齢者には地域の配食ボランティアの皆さんが届けています。

食事サービスは、平成2年「地域福祉ネットワーク事業」の主たる事業として始まりました。多くの独居高齢者が、日頃、人と接する機会も少なく、狭い行動範囲の中で過ごしており、当初は65歳以上の独居高齢者を対象に月2回の配食でした。「声かけをしながら見守ること」を目的に、調理ボランティアと配食ボランティアに支えられてのことでした。そして、平成16年に、君津中地区社会福祉協議会が組織され、平成22年度より「ひとり暮らし安心見守り事業」として始まり現在に至っています。

対象者の声

「季節の野菜をたくさん使ってのお弁当は、とても有り難いです。」

「届けてくださる方が、優しく声をかけてくださるので月1回のこの日が楽しみです。」

「お弁当の薄味になれ、普段も薄味にしてみましたら、血糖値が下がりました。」

「美味しいお弁当で、手作りはいいですね。ゴーヤの酢の物は初めてで美味しかったです。」

配食ボランティアの声

「配食に行ってお留守の方もいます。でも、『私は元気です』というメッセージがあると安心します。」

「ディサービスが充実してきて、対象者が減っていますが、お弁当を楽しみに待っていてくださるのでうれしいです。」

玄関で待っていてくださるので届け甲斐があります

調理ボランティアの声

「自分自身が楽しい時間を過ごしています。調理の内容も、自宅で作る量とはまったく違うので勉強になります。」

「これでは大きい？固いかしら？薄味がいいよね。工夫しながら和気あいあい調理してます。」

仲間もできて交流も深まります

楽しく開催された敬老会

祝 君津中地区敬老会

今年も君津中地区敬老会が、9月17日（月）に生涯学習交流センターで、多数の来賓・参加者・出演者を集め開催されました。例年同様90歳を迎えた方々を特別にご招待し、敬愛に満ちた、たくさんの拍手の中で花束と記念品が贈呈されました。プログラムに沿って演芸も行われ、参加者の皆さんは楽しい時を過ごしました。（総勢310余名が参加）

来賓として祝辞を述べる市長

花束を贈呈された９０歳到達者の方々

もりあがった敬老会の演芸

高齢者の方々の長年の社会貢献を敬い、地域の敬老意識を育む目的で敬老会がありますが、日頃の文化活動の成果を発表するなど、生きがいづくりと社会参加の機会でもあります。

演芸トップを飾り、君中合唱部によるコーラス

着ぐるみの中は暑いです！
１５分が限度。でも皆さんの笑顔がなによりです（ほのぴー）

魅了された「フラサークル・カトレア」

息もピッタリ　南子安「寿会銭太鼓サークル」

会場に響きわたる、お囃子
北子安祭り囃子保存会の皆さん

華麗な舞　杢師「福寿会」

みごと!!　貞元甲冑会と桜美会による吟舞

みんなで運動もがんばります!!
円内は指導をいただいた山道氏

高齢者に親しみのある曲を、ラテンジャズで楽しませてくれた、特別ゲスト「君津ラテンジャズ同好会」の皆さん　会場全員が元気になりました

ボランティアに参加してくださった、君津中学校生徒の皆さんの声

- 始めのうちは戸惑いもありましたが、やっているうちにお年寄りの方に「ありがとう」と言われ、うれしくなりました。
  また何かの機会があったら参加したいです。
- 今、何かとボランティアが注目されたり、必要性が言われていますが難しいことかもしれませんが、自分も少しずつでも参加し、お手伝いが出来たらと思います。
- 「ほのぴー」の着ぐるみをつけて参加してみたかったけど、熱中症問題で出来なかったのが残念です。

東京湾アクアラインの避難路等を視察

今年の役員研修は、6月18日に東京湾アクアライン・東京電力富津火力発電所・君津漁業資料館の3か所を視察しました。

通常皆さんが車で通るアクアラインのトンネルの下は、非常時の避難に備えたトンネル空間が広がり、火災や地震等、様々な災害対応がなされていました。職員による丁寧な説明を受け、参加した皆さんの表情も真剣そのもの。多くの質問が出ていました。

東京電力富津火力発電所は、国内第3位の総出力を誇る世界でも最大級の天然ガス火力発電所とのことでした。

構内は広大で、バスに乗っての見学。「液化天然ガス(LNG)の地下タンクを10基備え持ち、ガスはパイプライン等で県内や神奈川県にも送られている。」また、「LNGは、ばいじんや酸性雨の原因となる硫黄酸化物を排出せず、NOx発生も低減されるなど環境への配慮もなされている。」「発電効率は58.6%(4号系列)と以前よりだいぶ良くなっている。」等の説明を受け、火力発電の進化を実感しました。

日本では、原子力に変わり火力発電が主力となっています。今後、さらに発電効率の良い機器が開発されることを期待し、発電所を後にしました。

トンネルを掘ったシールドマシンの先端が巨大なモニュメントに（海ほたる屋上）

あなたも　わたしも
ボランティア

君津市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
ほのぴー

「ボランティア活動」と聞いて、どんなイメージを持ちますか？

皆さんの住む地域には、いろいろな人が生活しています。地域の皆さんが幸せに生活するためには、お互いを支えあう気持ちが必要ですが、そのためには「できることをできる範囲で助け合う」ことが大切です。このような支えあい活動の一つとしてボランティア活動があり、自分にできることから始められる、身近にある活動なのです。中地区敬老会では、今年も君津中学校生徒の皆さんがボランティアとして参加し活躍、高齢者の皆さんに大変喜ばれていました。

ボランティア活動とは・・・

・自分から進んで行う活動である。
・お金などの見返りを期待しない活動だが、出会いや喜び、感動などを得ることができる。
・社会のため、地域のため、みんなのために活動する。聞き上手、人を楽しませること、手工芸など活動に活かせることはたくさんあります。

ボランティア活動は、「だれでも」「できるときに」参加でき、それを続けていくことで自分たちの住む地域や社会がもっと良くなっていく活動です。決して特別な人が行う活動ではありません。

子どももお年寄りも、誰でもできるボランティア活動

〈収集活動〉……君津市ボランティアセンター（ふれあい館3階）で集めています。
①使用済み切手の収集・・・・・切手の周囲5ミリ程度の余白を残して切り取る。
②飲料缶の口金のプルタブの収集
③クオカード・図書カードなど使用済みカードの収集
④書き損じはがきの収集

〈その他〉フードバンク千葉では、家庭などにあるまだ食べられる不要な食品を定期的に集めて、福祉関連施設や生活に困窮している方に配布しています。（君津市では市社協で　☎ 57-2250）

＊収集活動の詳細は、君津市ボランティアセンターにお問い合わせください。
その他様々な活動があり、随時ボランティアの募集も行っています。☎ 0439(55)0294）

編集後記

今号では、おひとり暮らしの高齢者の方を見守るために実施している「配食サービス」と賑やかに行われ皆さまに好評だった「敬老会」を中心に編集しましたが、皆さまいかがでしたか？地域をより良くし活性化するには、ボランティア活動が必須といえる今日。誰もがボランティア活動に参加する地域でありたいと思います。中地区社会福祉協議会も、君津中学校区の住民が活動するボランティア団体の一つです。皆さんの参加・協力を切にお願い致します。（M・I）